

〈 総 評 〉

神戸市立 川原保育所

	項目	評価の高いところ	改善すべきところ
I	福祉サービスの基本方針と組織	・新・神戸基本構想に基づいて課題を明確にし、川原保育所の運営が適切になされています。	・神戸市の中長期計画をふまえた計画等の策定はなされているが、川原保育所独自の地域性を取り入れた運営につなげる必要があると思われます。
II	組織の運営管理	・神戸市の指導に基づき、具体的な運営状況の分析や改善がおこなわれています。	・今後に向けては書類の実施内容を通しての見直しが必要と思われる。 ・管理者である所長の目標、課題を保育士等に伝えることにより、保育士同士の連携、意識の向上につながると思われます。
III	適切な福祉サービスの実施	・児童憲章や神戸市として規定された福祉サービスを向上するためのマニュアル等は整備されている。利用者の意向をふまえた保育運営がなされています。	・神戸市からの定めをうけて、保育所独自のサービス等々を深め、更に職員間に定着させていかれることが、より良いサービスにつながると思われます。
IV	実施する福祉サービスの内容	・与えられた環境、設備のなかで、子ども達の健やかな育ちをうながす環境づくりに配慮されており、落ち着いた雰囲気の中で保育運営がなされています。	・一人ひとりの子どもの育ちについて、職員間の伝達はなされているが、話し合ったこと等を詳細に記録に残すことにより、子どもの育ちに対して共通理解が深まり、それが子どもの理解につながると思われる。
	総合所見	<p>・各項目の評価のなかで、a評価をしながらも、改善等が必要な部分については、職員間であらたな課題としてとらえ、すでに取り組んでおられることが最終評価の訪問時のヒヤリングで聞き取れました。</p> <p>・所長をはじめ職員の方々の子どもの育ちに対しての熱意、また心を込めて保育されている姿が感じられました。今後は、地域のなかの川原保育所として独自性を持って更に保育を深めていかれることが望まれます。</p>	